

1 試験区分等

受験資格や申込方法等は、6月22日（木）からホームページに掲載する受験案内で御確認ください。

試験・選考種類	試験・選考区分	採用予定数	受験資格年齢 ※ (令和6年4月1日時点)
高校卒程度、 免許資格職など 採用試験	事務	25人程度	18歳から21歳まで
	土木	15人程度	
	機械	5人程度	
	電気	5人程度	
	水道技術	7人程度	
	消防	55人程度	
	消防（救急救命士）	15人程度	
	保育士	20人程度	34歳まで
	司書	6人程度	30歳まで
	栄養士	数人	
	学校栄養	5人程度	

※ 年齢要件の他に免許・資格が必要となる区分があります。

2 主な変更点

消防区分の試験科目等が変わります！

試験区分

高校卒程度、免許資格職など採用試験 消防、消防（救急救命士）

試験科目

- 第二次試験で、新たにグループワークを実施します。

概要	
	・ 与えられた課題に対し、受験者同士で共同作業を行いながら、課題解決に向けたグループワークを行う。 ・ 1グループあたり、3～5人程度で実施する。

- 身体検査を、従来の集合形式から、任意の医療機関で受診したうえで身体検査票を提出する身体検査票提出方式に変更します。

変更前	変更後
集合形式（面接と同日実施）	身体検査票提出方式

- 第二次試験で実施している体力検査について、検査項目を変更します。

変更前	変更後
・ 腕立て伏せ ・ 握力 ・ 反復横とび ・ 上体起こし	・ 腕立て伏せ ・ 懸垂 ・ S S T（シャトル・スタミナ・テスト）